

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は2019年度を起点に、創立100周年を迎える2023年度を最終年度とする5カ年中期経営計画「令和.Pro Prosperity2023」をスタートさせ、成長分野であるパワーエレクトロニクス事業、パワー半導体事業へのリソース傾注や海外事業拡大等の成長戦略を推進しています。

当第2四半期連結累計期間における当社を取り巻く市場環境は、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復基調が継続する中、製造業の設備投資が堅調に推移しました。こうした中で、工作機械関連の需要が高水準で推移し、自動車の電動化や省エネニーズの高まりを受け、器具分野、オートメーション分野、半導体分野の需要が大幅に拡大しました。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の連結業績の売上高は、部品調達難による生産影響を受けたものの、サプライチェーン最適化の取り組み等により旺盛な需要に対応し、「発電プラント」を除く4部門で増加し、前年同期に比べ407億円増加の3,977億円となりました。

損益面では、素材価格高騰の影響を受けたものの、売上高の増加に加え、原価低減の推進や製品販売価格の値上げ等により、営業損益は前年同期に比べ110億円増加の163億円、経常損益は前年同期に比べ117億円増加の169億円、親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同期に比べ119億円増加の140億円となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純損益は、第2四半期連結累計期間としては過去最高を更新しました。

当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は次のとおりです。

(単位：億円)

	2021年3月期 第2四半期連結累計期間	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	増 減
売上高	3,570	3,977	407
営業損益	53	163	110
経常損益	52	169	117
親会社株主に帰属する 四半期純損益	21	140	119

部門別の状況

《パワーエレクトロニクス エネルギー》

売上高：1,041億円（前年同期比 27%増加） 営業損益：42億円（前年同期比 26億円増加）

器具分野を中心に全ての分野において需要が拡大し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

- ・エネルギーマネジメント分野は、電力流通及び産業向け変電機器の大口案件等により、売上高は前年同期を上回りましたが、案件差等により、営業損益は前年同期を下回りました。
- ・施設・電源システム分野は、データセンター及び半導体向けの大口案件等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・器具分野は、工作機械をはじめとする国内外の機械セットメーカーの需要が大幅に拡大し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

《パワエレ インダストリー》

売上高：1,344億円（前年同期比 5%増加） 営業損益：24億円（前年同期比 22億円増加）

I Tソリューション分野の売上高が減少したものの、オートメーション分野を中心に需要が拡大し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

- ・オートメーション分野は、低圧インバータ及びF Aコンポーネントを中心に国内外で需要が拡大し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・社会ソリューション分野は、鉄道車両用電機品の大口案件等を主因に、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・設備工事分野は、電気設備工事の需要が増加し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・I Tソリューション分野は、前年同期の公共分野及び文教分野の大口案件影響等により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。

(注) 2021年3月期第3四半期連結会計期間より、「船舶用排ガス浄化システム」を「オートメーション分野」から「社会ソリューション分野」に移管しており、前年同期の数値を移管後の分野に組み替えたうえで算出しております。

《半導体》

売上高：850億円（前年同期比 17%増加） 営業損益：118億円（前年同期比 55億円増加）

- ・半導体分野は、ディスク媒体事業からの撤退影響があったものの、電気自動車（x E V）向け及び産業分野向けのパワー半導体の需要拡大により、売上高は前年同期を上回りました。また、パワー半導体の生産能力増強及び研究開発に係る費用が増加したものの、売上高の大幅な増加により、営業損益も前年同期を上回りました。

《発電プラント》

売上高：266億円（前年同期比 19%減少） 営業損益：△11億円（前年同期比 22億円減少）

- ・発電プラント分野は、前年同期の再生可能エネルギーの大口案件影響により、売上高は前年同期を下回りました。また、売上高の減少及び案件差等により、営業損益も前年同期を下回りました。

《食品流通》

売上高：443億円（前年同期比 18%増加） 営業損益：9億円（前年同期比 34億円増加）

- ・自販機分野は、売上高は前年同期を上回るとともに、固定費削減等の推進により、営業損益も前年同期を上回りました。
- ・店舗流通分野は、コンビニエンスストア向け店舗設備機器等の需要拡大により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

《その他》

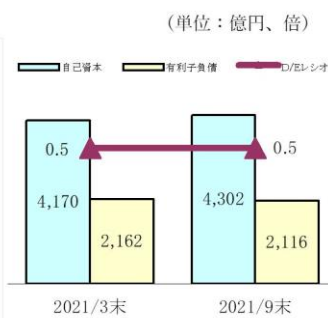
売上高：255億円（前年同期比 2%増加） 営業損益：10億円（前年同期比 3億円増加）

- (注) ・第1四半期連結会計期間より、従来「電子デバイス」としていた報告セグメントの名称を「半導体」に変更しております。
- ・当第2四半期連結会計期間より、従来「パワエレシステム エネルギー」及び「パワエレシステム インダストリー」としていた報告セグメントの名称を「パワエレ エネルギー」及び「パワエレ インダストリー」に変更しております。

(2) 財政状態に関する説明

	2021/3 末	構成比 (%)	2021/9 末	構成比 (%)	増減
総資産	10,520	100.0	10,298	100.0	△222
有利子負債残高	2,162	20.6	2,116	20.5	△46
自己資本	4,170	39.6	4,302	41.8	+132
D/E レシオ	0.5		0.5		0.0

*自己資本=純資産合計-非支配株主持分
*D/E レシオ=有利子負債残高/自己資本



当第2四半期末の総資産は10,298億円となり、前期末に比べ222億円減少しました。流動資産は、現金及び預金が増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産の減少などを主因として、265億円減少しました。固定資産は、有形固定資産の増加などを主因として、43億円増加しました。

有利子負債残高は、当第2四半期末では2,116億円となり、前期末に比べ46億円の減少となりました。なお、有利子負債残高から現金及び現金同等物を控除したネット有利子負債残高は、当第2四半期末では1,145億円となり、前期末に比べ264億円の減少となりました。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加を主因として増加し、当第2四半期末では4,760億円となり、前期末に比べ147億円の増加となりました。なお、純資産合計から非支配株主持分を控除した自己資本は前期末に比べ132億円増加し、4,302億円となりました。D/E レシオ（「有利子負債残高」÷「自己資本」）は、前期末と同じ0.5倍となりました。なお、ネットD/E レシオ（「ネット有利子負債残高」÷「自己資本」）は、前期末と同じ0.3倍となっております。

当第2四半期連結累計期間における連結ベースのフリー・キャッシュ・フロー（「営業活動によるキャッシュ・フロー」＋「投資活動によるキャッシュ・フロー」）は、400億円の資金の増加（前年同期は130億円の減少）となり、前年同期に対して530億円の好転となりました。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動による資金の増加は398億円（前年同期は21億円の減少）となりました。これは、仕入債務が減少した一方で、税金等調整前四半期純利益の計上並びに売上債権及び契約資産が減少したことなどを主因とするものです。

前年同期に対しては、420億円の好転となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動による資金の増加は2億円（前年同期は108億円の減少）となりました。これは、有形固定資産を取得した一方で、投資有価証券を売却したことなどによるものです。

前年同期に対しては、110億円の好転となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動による資金の減少は192億円（前年同期は1,043億円の増加）となりました。これは主として、リース債務の返済並びに配当金の支払によるものです。

これらの結果、当第2四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前期末残高に対して218億円増加し、971億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の連結業績動向等を踏まえ、2021年7月29日の決算発表時に公表した2022年3月期通期の連結業績予想を修正することといたしました。

なお、為替レートは、107円/US\$、127円/EURO、16.5円/RMBを前提としています。

(2022年3月期通期 連結業績見直し)

(単位：億円)

	前回発表	今回発表	増 減
売上高	9,000	9,000	0
営業損益	600	670	70
経常損益	610	680	70
親会社株主に帰属する 当期純損益	420	500	80

(参考：部門別)

(単位：億円)

	前回発表		今回発表		増 減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
パワエレ エネルギー	2,170	152	2,250	180	80	28
パワエレ インダストリー	3,290	222	3,330	250	40	28
半導体	1,740	216	1,700	250	△40	34
発電プラント	840	33	840	33	0	0
食品流通	875	27	875	27	0	0
その他	500	18	500	18	0	0
消去または全社	△415	△68	△495	△88	△80	△20
合計	9,000	600	9,000	670	0	70